



位相差を変えた軸方向・ねじり二軸疲労試験技術

接着・接合した部材の強度および耐久性を位相・周波数を変化させて評価いたします。

試験技術の概要

- 部材の軸方向+ねじりの位相・周波数を変化させた複合荷重評価疲労試験

複合的な载荷において、位相・周波数を変化させて与えることができます。
3種類の試験機を有しておりますので、载荷に応じて試験機を選択できます。

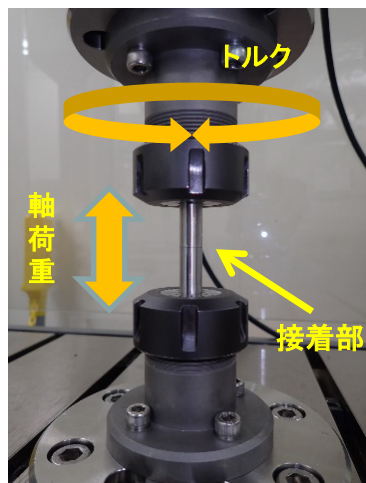
試験概要

試験環境	室温、大気中※ (その他の試験環境についてはご相談ください。)
試験方法	引張繰り返し負荷 + ねじり繰り返し負荷 (引張側一定応力で保持 + ねじり繰り返し負荷 ねじり一定応力で保持 + 引張繰り返し負荷 も試験可能です。)
最大試験荷重容量	±100kN(100kN二軸疲労試験機)、±10kN(10kN二軸疲労試験機)、±3kN(3kN二軸疲労試験機)
最大試験トルク容量	±1000N・m(100kN二軸疲労試験機)、±100N・m(10kN二軸疲労試験機)、 ±25N・m(3kN二軸疲労試験機)

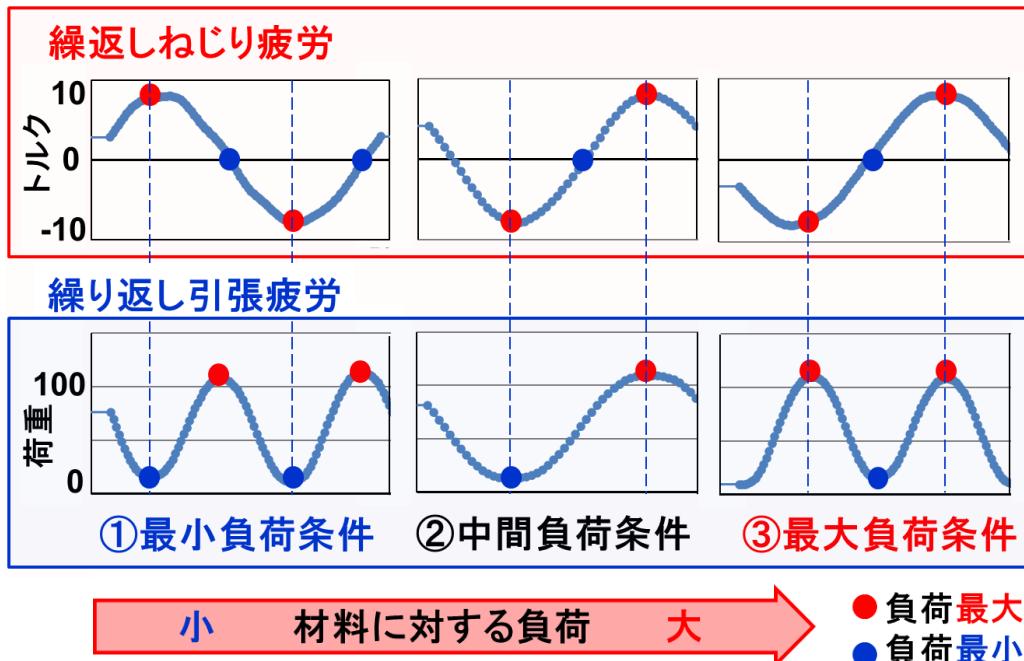
※100kN二軸疲労試験機は恒温槽を用いた-60℃～250℃環境下の試験も実施できます。

試験方法の模式図例

繰返しねじり負荷のサイクルと繰返し引張負荷のサイクルを、それぞれ位相・周波数を変化させて与えることにより、様々な負荷を材料(試験体)に与えることができます。



■ 負荷サイクルの例



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。